

2023年度事業計画書

五代武田長兵衛（和敬翁）により、「社会に役立つよう勉学に勤しむ学徒に対し、その学科の如何を問わず、また学業終了後の就職も各自の自由意思に委ねることを前提として返還不要の奨学金を与える」という精神で始められた。和敬翁の遺志を引き継ぎ、志が高く、学術優秀、品行方正な大学生及び大学院生に必要な援助を与え、社会に貢献する人材を支援・育成していく。

I. 方針

指定校における公募推薦制および尚志社の選考委員会制度により、尚志社に相応しい質の高い学生を採用する。また、社友懇話会や奨学生懇談会を通じて、奨学金給付以外の人材育成支援にも積極的に取り組む。このほか、社友の活躍や近況を中心に情報発信を継続し、財団活動に関する内外の理解促進を図る。

II. 事業

1. 奨学生の採用並びに奨学金の支給

2023年度の採用者は59名（新規採用52名、大学院進学による再採用7名）を予定する。この59名と継続の奨学生54名の計113名に対して、下記Ⅲ. の計画に従って奨学金を支給する。

2. 社友懇話会の開催

役員・評議員・先輩社友・奨学生の交流を目的とし、札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、福岡において懇話会を開催する。

3. 機関誌の発行

尚志社の人材育成事業の活動状況や情報提供のために、機関誌「尚志」を年2回発行する。

4. 奨学生懇談会の実施

少なくとも年1回の奨学生懇談会を通じて、奨学生に対する生活指導、助言を行う。

III. 奨学金支給計画

1. 入学金・授業料・その他正規納付額は、実費を限度として支給する。ただし、入学金は30万円、授業料・その他正規納入金は100万円を限度とする。

2. 奨学金（月額補助分）の支給区分 (単位：円)

区 分	支給額（月額）
大学院博士課程・下宿	70,000
大学院博士課程・自宅	50,000
大学院修士課程・下宿	60,000
大学院修士課程・自宅	40,000
学部5年／6年・下宿	60,000
学部5年／6年・自宅	40,000
学部3年／4年・下宿	50,000
学部3年／4年・自宅	30,000

3. 継続の奨学生（54名）に対する支給計画 (単位：円)

区分		人数	毎月支給（年額）	授業料他	計
博士 課程	下宿	7	5,720,000	3,949,920	9,669,920
	自宅	0	0	0	0
修士 課程	下宿	18	12,960,000	10,008,600	22,968,600
	自宅	5	2,400,000	3,707,000	6,107,000
学部 5/6年	下宿	15	10,440,000	8,029,500	18,469,500
	自宅	3	1,440,000	1,607,400	3,047,400
学部 3/4年	下宿	2	1,200,000	1,231,800	2,431,800
	自宅	4	1,200,000	2,607,400	3,807,400
計		54	35,360,000	31,141,620	66,501,620

4. 大学院進学による再採用予定者（7名）に対する支給計画 (単位：円)

区分		人数	毎月支給（年額）	授業料他	計
博士 課程	下宿	3	2,520,000	1,592,400	4,112,400
	自宅	1	600,000	535,800	1,135,800
修士 課程	下宿	2	1,440,000	1,635,600	3,075,600
	自宅	1	480,000	1,000,000	1,480,000
計		7	5,040,000	4,763,800	9,803,800

注) 進学者（大学院）は再選考のうえ、採否を決定する

5. 新規採用予定者（52名）に対する支給計画
52（名）×1,300,000（円、注）=67,600,000（円）

注）尚志社奨学生のおよその平均支給額（年額）

6. 海外渡航者（10名：予想数）に対する支給計画（一時的増額）

10（名）×250,000（円、注）=2,500,000（円）

注）行先が欧米の場合の支給額

7. 2023年度の奨学金所要額

（3、4、5および6の合計）146,405,420円

公益財団法人尚志社

収支予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	172,877,420	36,451,656	0	209,329,076
基本財産受取配当金	80,606,664	36,451,656		117,058,320
基本財産受取配当金振替額	92,270,756	0		92,270,756
特定資産運用益	6,000	3,000	0	9,000
特定資産受取利息	0	3,000		3,000
特定資産受取利息振替額	6,000	0		6,000
受取寄付金	11,200,000	0	0	11,200,000
受取寄付金	2,000,000	0		2,000,000
受取寄付金振替額	9,200,000	0		9,200,000
雑収益	2,000	0	0	2,000
受取利息	2,000	0		2,000
経常収益計	184,085,420	36,454,656	0	220,540,076
(2) 経常費用				
事業費	200,085,420		0	200,085,420
支払奨学金	146,405,420			146,405,420
社友懇談会費	10,000,000			10,000,000
印刷製本費	9,000,000			9,000,000
役員報酬	5,000,000			5,000,000
選考委員報酬	2,200,000			2,200,000
給料手当	9,500,000			9,500,000
退職給付費用	430,000			430,000
福利厚生費	2,100,000			2,100,000
旅費交通費	4,500,000			4,500,000
通信運搬費	1,500,000			1,500,000
消耗品費	1,200,000			1,200,000
会議費	500,000			500,000
賃借料	2,100,000			2,100,000
業務委託費	5,250,000			5,250,000
雑費	400,000			400,000
管理費		19,620,000	0	19,620,000
役員報酬		3,800,000		3,800,000
給料手当		7,000,000		7,000,000
退職給付費用		270,000		270,000
福利厚生費		1,500,000		1,500,000
会議費		200,000		200,000
旅費交通費		500,000		500,000
通信運搬費		400,000		400,000
消耗品費		500,000		500,000
賃借料		1,400,000		1,400,000
業務委託費		3,550,000		3,550,000
雑費		500,000		500,000
経常費用計	200,085,420	19,620,000	0	219,705,420
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,000,000	16,834,656	0	834,656
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 16,000,000	16,834,656	0	834,656
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 16,000,000	16,834,656	0	834,656
他会計振替額	16,000,000	△ 16,000,000		0
当期一般正味財産増減額	0	834,656	0	834,656
一般正味財産期首残高	1,831,214,950	1,062,645,993		2,893,860,943
一般正味財産期末残高	1,831,214,950	1,063,480,649	0	2,894,695,599
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取配当金	75,066,480			75,066,480
特定資産受取利息	6,000			6,000
一般正味財産への振替額	△ 101,476,756			△ 101,476,756
当期指定正味財産増減額	△ 26,404,276	0	0	△ 26,404,276
指定正味財産期首残高	2,140,181,945			2,140,181,945
指定正味財産期末残高	2,113,777,669	0	0	2,113,777,669
III 正味財産期末残高	3,944,992,619	1,063,480,649	0	5,008,473,268